

## 環境学習コーディネート実施概要（Web掲載）

依頼No	6	事例No	3	依頼者	小牧市市民安全課	実施場所	小牧市役所本庁舎
実施対象	消費生活改善推進委員および小牧市内在住・在勤・在学の方（計31名）						
実施日時	令和元年8月23日（金）10時～11時30分（1時間30分）						
テーマ	プラスチックと環境問題（消費生活特別講座）						

### ●依頼内容

消費者知識の向上を図り、主体性のある消費者の育成、また健全な家計や安定した生活を実現するための基礎知識の習得を目的とする消費生活特別講座の講師の紹介。授業は海へ流れるプラスチック問題（ヨーロッパのプラスチック問題）、家庭のごみがどう環境に影響していくのかを受講者に考えさせる内容にしたい。

### ●講師：名古屋産業大学大学院非常勤講師 児玉剛則氏

環境行政やごみ問題に詳しく、学生や地球温暖化防止活動推進員、一般市民等を対象とした各種講演会等の実施経験がある。

### ●授業の内容

座学	<p>「暮らしの中のプラスチック」と題するパワーポイントを使って授業が進められた。授業は、①プラスチックとは何か、②普段使っているプラスチックにはどんなものがあるか、③プラスチックでない製品にはどんなものがあるか、④プラスチックによる海洋汚染を防ぐには、⑤海洋生態系の保全について、⑥プラスチックとどう付き合っていくか、⑦まとめ、といった内容で行われた。なかでも、マイクロプラスチックは海洋の植物性プランクトンと大きさが類似しており、食物連鎖によりイワシなどの魚が間違っってそれを食べてしまうことが強調されていた。参加者には、授業の実施に先立って、日々の生活のなかでどんなプラスチック製品を使っているのか、またプラスチックをめぐるどんなことが社会問題になっているのか、新聞記事を読んで調べてもらってきており、授業は参加者が自らの暮らしを振り返ったり、今後どうあるべきかについて考えてもらったりしながら進められた。</p>	90分
----	--	-----

### ●授業の様子

参加者は授業に先立って自らの暮らしの振り返りや、講義の途中途中で講師から投げかけられる質問に対して参加者が発表を行うなど、参加型の授業となりました。参加者の多くは主婦の方々であり、それぞれが自らの暮らしを振り返りながら同じテーブルの参加者と意見を交わすことで、深刻化しているプラスチック問題をはじめとする環境問題について真剣に向き合う姿が見られました。

授業はパワーポイントを使って進められた



講義は日々の自らの暮らしを振り返る機会となった

